

第27回 『雨の自習モード』

とき 平成22年10月9日(土) 9:30 - 16:00

ところ 谷っ戸ん田小屋、苺ハウス、堀の内畑

天気 雨

参加者 石田、磯、オズ、久保、霧生、佐々木夫妻・優聖、高田直子、松本夫妻、百崎恵美・まる
計 12名(子供2名含む)

- 土方殺すにゃ刃物はいらぬ、しとしと雨に見舞われました。
- しょうがないので、二手に分かれやれることをやるということに。
- 脱穀が足踏み状態となっている米が心配ですが、石田さん経由の鉄さんコメントでは、そんなに心配ないとのことでした。

午前 堀の内組(石田、オズ、久保、佐々木夫・優聖、高田直子、松本夫妻)

- 本日の参加者で持ち帰る程度の枝豆を収穫。
- ジャガイモを植え付けなかったエリアに蒔く種を田奈農協へ買出し。
- ジャガイモが育っている部分のみ、鍬を使って土寄せ。
- ジャガイモを植え付けなかったエリアはトラクターをかけ、9種類の種を下記のように蒔いた。

大豆畑

1列目 CR耐病カブ「白露」	2列目 CR耐病カブ「白露」/サラダ京水菜
3列目 サラダ京水菜	4列目 サラダ京水菜・食用ナバナ mix (注1)
5列目 サラダ京水菜・食用ナバナ mix	6列目 サラダ京水菜・食用ナバナ mix
7列目 サラダ京水菜・食用ナバナ mix	8列目 のらちゃん菜 (注2)
9列目 小松菜	10列目 小松菜
11列目 チンゲン菜	12列目 オータムほうれん草(西洋種)
13列目 日本ほうれん草	14列目 日本ほうれん草/からし菜
15列目 からし菜	

ジャガイモ畑

種まきにクリーンシーダー使用。種の大きさにより、装着するロールを下記のように変えて使った。

1~8列目 小 / 9~11列目 中 / 12~15列目 大

<石田さん注>

- ロールは大中小ではなく、かなり細かく種類があります。4種類を使いました。
- ただ、途中で時間と空模様とメンドクササでテキトーになりました。
- クリーンシーダーはロールでいるんな大きさの種に対応し、スプロケット(歯車)の調節で株間を調整できます。とりあえず雨のやみ間の短時間でいろいろまくために、活躍してくれました。

<注1>

水菜とナバナがmixとなっているのは、水菜の種がクリーンシーダに残り少々入っているところに、ナバナの種を足したため。おそらく、4~7列目はほとんどナバナだと思われるが、どこまで混じっているか確信がないので、このように表現した。

<注2>

気になる「のらちゃん菜」とは食用油菜の一種。トウ立ちする花茎を摘み取り食用にする。茹で上がりは濃い緑色で、甘みがあり肉質軟らかく、おひたし、鍋物、油いためなどに最適。

午前 居残り組（佐々木利江、霧生、磯、久保、高田直子、松本洋子）

< 蔓の害虫駆除 >

ハウス内で作業。はっばについている青虫、毛虫を手で駆除。けっこういっばについていました。

< ハウス、畑の見回り >

田んぼ横のハウス(トマト、セロリ)の生育状況の確認。日照のせい、苗に元気がない。

セロリには青虫がついている。手で駆除。

ついでに葱を植えた奥の畑も見回りしました。こちらは特に問題ないです。

ランチ

小屋にてハンモックランチ（きのこの玄米クリームリゾット）。

午後

雨が強くなり、作業できず。小屋にて、フリートークの場を持つことに。

参加者：石田、オズ、霧生、久保、佐々木夫妻、高田直子、野地、松本夫妻、百崎恵美・まる

【堀の内畑について】

今年度、堀の内の畑についてはな～に谷っ戸ん田が主体となって動く！ということを確認。

【研修旅行など】

野地家のみかんもぎ手伝いは、12～2月に野地さんからお声かけがある。また、忘年会、餅つきもしたい。1泊飲み会つきでみかんもぎ（12月なら忘年会あわせ、2月なら梅まつりあわせ）という案も。

鉄さんが発案したムツさんの山は今回は見送ろうということになった。

別の「研修」をということで、な～に谷っ戸ん田の会のなかでの「役割分担」で、昨年に続いて霧生さん、そして百崎（妻）さんが幹事をしてくれることとなった。今後、鉄さんと調整。

【「農のある地域づくり協定事業」奨励金の使い方】

基本は種代、肥料代、燃料代、光熱水費などに使う。

講師を呼んで講座を行う費用としたり、年に一度はライブを（ちゃんとギャラを払って）開催するというアイデアも出た。

枝豆の根を落とし、葉をむしって、持ち帰りやすい状態にして、各自数束ずついただいた。16時頃解散。

（記録：磯 直行、オズ）